

項目	自己評価	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標	達成状況	改善方策	学校関係者評価書	学校関係者評価				
確かな学力	A	学習の基礎基本をしっかりと身に付けるとともに、進んで学ぶ力、活用する力を育てる。	①全国学力・学習状況調査において全国平均+4P以上に。標準学力調査で、各学年ともに評定1の児童を2割以下にする。	学力向上のための組織的な校内研修体制づくり <small>・生活科・総合的な学習・算数科の時間の研究を通して、自ら考え、主体的に行動し、よりよく生きようとする児童を育成する。 ・各学年が年間2回以上研究授業を行い、講師を招聘する。 ・学力調査等の分析をし、学校全体での対策を講じる。(学力分析のPDCAサイクルを回す)</small>	・全国学力・学習状況調査：全国平均 +4P以上 ・標準学力調査：各学年 評定1…2割以下	・全国学力・学習状況調査：全国平均 +6P ・標準学力調査：各学年 評定1…2.5割	・放課後教室や香長つ子タイムの時間等、基礎基本定着の時間を有効に使う。 ・児童のつまずきが見られる授業内容について、効果的な授業展開を具体的に教員間で交流していく。 ・講師を招聘し、研究授業を行う。	※家庭学習が出来ていない。学校に来て宿題をしている子供がいる。宿題をする・しない子どもの差がはげしいと思う。 ※放課後教室の声かけをもっとすればいいと思う。 ※宿題をしてもらうという取り組みをもっと強化して欲しい。 ※学習カードを続けていて保護者と学校の連携が取れている。	B				
			②全学年の児童が落ち着いて学習や活動することができる。	子どもにわかる授業づくり(授業づくりスタンダードの活用など) <small>・ユニバーサルデザインに基づく授業に取り組む。 ・児童が考えや解法を筋道だてて書くことができるようにする。 ・「学習のきまり」を再確認し、児童に配布する。 ・「香長スタンダード」の課題と振り返りを取り入れることを徹底する。 ・学習規律を統一する。</small>	・学校評価アンケート「授業がよくわかる」：肯定的回答 90%以上	・学校評価アンケート「授業がよくわかる」：肯定的回答 88.3%	・香長スタンダードの授業をもとに課題設定と振り返りを大事にし、ユニバーサルデザインを基本に、どの子にもわかる授業づくりを行う。 ・児童が主体となって取り組めるような授業構成を基本に考える。	B					
			③教員が指導方法をともに研修することによって、授業の質が上がり、どのクラスでも探究的な学習指導が行われる。	学校全体で予習・復習(宿題)の質と量を高める取組 <small>・『家庭学習の進め方』を配布し、自主学習ができる児童を育てる。 ・家庭学習カードに取り組む。 ・自学ノートを見合い、認め合う取組をする。</small>	・『家庭学習の進め方』を配布し、自主学習ができる児童を育てる。 ・『家庭学習の進め方』を配布し、自主学習ができる児童を育てる。	・『家庭学習の進め方』を配布し、確認。家庭学習カードを活用し、保護者と連携しながら取り組んでいる。自主学習の内容も高まってきている。	・家庭学習カードを継続することで、形骸化しないように、クラスの実態に応じて工夫する。 ・自主学習の深まりのない児童には、教員からの評価をこまめにしていく。			B			
豊かな心	B	自信をもって生活でき、仲間意識をもった行動ができる子どもを育てる。	①学校評価アンケートで、ほとんどの児童が読書が好きと回答する。 ②学校評価アンケートで、ほとんどの児童が「自分には良いところがある。」「何事も頑張る人になりたい」「学校のきまりを守っている」と回答する。 ③学校評価アンケートで、ほとんどの児童が「良く考えて自分で行動できている」と回答する。	・朝の読書の継続 ・高知県ショートコメントコンテスト、読書感想文コンクール、感想画コンクール、新聞作りコンクールへの応募 ・道徳の時間の充実により、道徳実践力の向上 ・意識調査の分析 ・道徳授業を全学級で公開 ・特別活動の充実	・学校評価アンケート「読書が好き」：肯定的回答 95%以上 「自分には良いところがある」：肯定的回答 85%以上 「何事も頑張る人になりたい」：肯定的回答 93%以上 「学校のきまりを守っている」：肯定的回答 93%以上 「良く考えて行動できている」：肯定的回答 90%以上 「あいさつを進んでいる」：肯定的回答 95%以上	・学校評価アンケート「読書が好き」：肯定的回答 83.6%▼ 「自分には良いところがある」：肯定的回答 84.7%○ 「何事も頑張る人になりたい」：肯定的回答 92.9%○ 「学校のきまりを守っている」：肯定的回答 95.3%◎ 「良く考えて行動できている」：肯定的回答 89.4%○ 「あいさつを進んでいる」：肯定的回答 94.1%○	・授業の中で、図書室を利用する機会を増やし、担任も一緒に図書室に行くようにする。 ・担任も読み聞かせをするなど、読書の楽しさを伝えていく。 ・教科との関連を図り、道徳の授業を充実させていく。 ・学校便り等で、「高知の道徳」の活用やモラル、マナーについて、日頃からの親子の会話をもつよう啓発していく。		※自分に自信のない子ども達が見られる。少人数の学校なのでもっと気配り、細やかな心配りをして欲しい。 ※来校者にあいさつをしない子供がいる。全員が元気にあいさつができるよう指導してほしい。		B		
			健やかな体	A	児童の運動能力を高めるとともに、運動が好きな児童を育てる。	①全国体力・運動能力テストで、男女ともに全国レベル以上となる。 ②学校評価アンケートで、ほとんどの児童が「運動を進んでいる」と回答する。 ③学校評価アンケートで、ほとんどの児童が「普段の日のゲームやテレビの時間を2時間以内」と回答する。	・体育講習会の実施(基礎的な運動能力、水泳、バスケットボール) ・校内に運動に関する掲示をして、児童に運動に関する情報提供をする。 ・柔軟性を高める日常的な運動に取り組む(ジャックナイフストレッチ) ・運動を楽しむ環境作り(施設・体育集会の実施・持久走など)を進める。 ・縦割り班を利用した体育的な活動を設定し、習慣づくりをする。	・全国体力・運動能力テスト：全国平均以上 ・学校評価アンケート「運動を進んでいるか」：児童・保護者ともに、肯定的回答 85%以上 「普段の日のゲームやテレビの時間を2時間以内」：肯定的回答 80%以上	・全国体力・運動能力テスト：男女ともに全国平均+10P ・学校評価アンケート「運動を進んでいるか」：肯定的回答 児童：84.7%○ 保護者：77.2%▼ 「普段の日のゲームやテレビの時間を2時間以内」：肯定的回答 75.3%▼			・各学年の体力・運動能力の向上をめざし、日々ストレッチなどできることを続ける。 ・異学年交流(縦割り班)上級生が下級生を誘い、運動場で遊ぶ。20分休み時間を保障する。 ・遊びの紹介(体育委員会) ・体力向上に向けて日常的にできる運動には、引き続き取り組む。 ・「ゲーム脳」の危険性について、講演会などを通じ、児童や保護者に啓発し、意識させる。	※子ども達の運動能力が高いと思う。このまま運動能力を高める活動を続けて欲しい。 ※ノーテレビデーを計画的に行なっていったらどうか。
						保護者地域との連携	B	保護者・地域に関われ、信頼される学校となる。	①学校行事などを工夫し、保護者・地域と一体になり、児童を育てる。 ②新設保育園との連携によって、香長地区の育てたい子ども像を共有し、ともに育てる。	・PTAや地域との連携を密にしながら、学校運営への参画・協力を多くする。 ・学校支援地域本部を中心としながら取組を充実させ、積極的に外部人材を活用する。		・参観日参加率：90%以上 ・学級通信、学校便りの発行：昨年度以上 ・ホームページの更新：月1回以上 ・地域の方に参加してもらう行事等の充実	・参観日参加率：平均93%以上 ・学級通信、学校便りの発行：昨年度以上 ・ホームページの更新：月1回未満 ・地域の方に参加してもらう行事等の充実 ○キッズチャレンジデイ ○交流もちつき大会 ○6年生を送る会 ※2月実施予定
特別支援教育	B	一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制づくりをする。							①特別に支援を要する児童の特性を理解し、個に応じた具体的な支援をする。 ②ユニバーサルデザインの効果的な授業改善に努める。	・特別支援教育に関する研修を年間2回以上実施する。 ・研究授業においては、インクルーシブ教育を意識したユニバーサルデザインの授業づくりをし、視覚支援により学習効果を高める。 ・効果のあった支援方法の記録を残す。	・特別支援教育に関する研修：年間2回以上 ・研究授業での評価項目「視覚支援」：平均3.5以上	・特別支援教育に関する研修：4月10日(金)山田小 8月20日(木)中央公民館 ・研究授業での評価項目「視覚支援」：平均3.7	・特別支援教育に関する研修に、引き続き取り組む。特に、発達障害に関する特性理解や効果的な指導について、研修を行う。 ・香長スタンダードの授業構成により、ユニバーサルデザインを意識した“どの子にもわかる授業”となるよう、授業改善に引き続き取り組む。